

女子大学は損か得か

星野祐子

1 テーマ

女子大学は損か得か

2 学生の実態

素直な学生が多く、授業中の取り組みもよい。学生の中には、控えめでグループ活動が苦手な学生いるが、それぞれが与えられた課題やテーマに対して、何らかの想いや意見を持つことができる。ただ、心に抱いた想いや意見を言語化し、グループ内で共有する段階となると、苦手意識をもつ学生もいるようである。また、学生は、ディスカッションやディベートといったグループ活動を義務教育段階でも経験しているが、自らが場を牽引し、積極的に場面を進めたという経験を持つ学生は少ないように見受けられる。

3 テーマについて

学生にとって身近な話題であり、女子大学に対するイメージも、入学前後で変化することが推察される。それゆえ取り組みやすいテーマではないだろうか。さらに、テーマを二者択一型としたことで、誰もがとりあえずの立場を決め、話し合いに臨むことができる。

4 育成したい力・目標

本ワークは、ブレインストーミングとKJ法の活動で構成される。ブレインストーミングには、フロアに出された全てのアイデアを歓迎し、批判は行わないといった決まりごとがあり、自由な雰囲気の中で、女子大学についての意見・感想を述べることができるだろう。この自由なやりとりの中では、「意見提示力」「傾聴力」「応答力」の育成が期待される。また、グループ活動においては、円満な雰囲気での活動を進めることが求められる。よって、友好的に話題を進めて

いくためには「協調力」も必要となろう。さらに、決められた時間の中で話題を拡げ、話題を深めていくプロセスには「話題進展力」も大切な能力となる。

続いて、KJ法を用いた活動には、先に述べた能力に加え、フロアで共有した意見を整理する「情報整理力」と、情報を俯瞰的に把握した上で、具体的な意見をジャンル分けし、抽象化したラベルをつける「抽象化力」が必要となる。

5 活動の工夫

グループによるブレインストーミング活動の前に、学生それぞれが抱えている女子大学のイメージをできるだけ多く挙げさせる。その後、それぞれの意見を持ち寄ることで、ブレインストーミングの活動をスムーズに開始することができる。また、ブレインストーミングの際は、持ち寄った意見を付箋に記入させることで、その後のKJ法の作業を容易に行えるようにしている。振り返りの場面では、穴埋め式の振り返りシートを用いることで、表現力が乏しい学生も無理なく取り組めるようにする。

6 評価の観点

- ① 相手や場面を意識して、自分の意見を提示することができたか。
- ② 相手の意見を傾聴し、適切な応答・コメントを行うことができたか。
- ③ 目的に向かって話題を進展させることができたか。
- ④ ブレインストーミングに積極的に参加することができたか。
- ⑤ 情報を整理し、情報を俯瞰的にとらえることができたか。
- ⑥ 振り返り活動を行い、自分の意見の変容や意見の深まりに気づくことができたか。

7 学習指導案 (90分)

流れ	学習内容	■教材・用具 ※留意点
導入 (5分)	説明 よく知っていることでも、改めて考えたり、そのことについてグループで話し合いをしてみると、新しい発見があったり、考えが変わったりすることがあります。今回は、皆さんにとって身近な「女子大学」に関して、いろいろな面から考えてみましょう。	※導入段階ではブレインストーミング、KJ法については触れない。理論や方法については後ほど取り上げる。
展開① (10分)	活動 「女子大学」に関するイメージの記入 ※「女子大学」について意見を持ってない学生には、「入学する前のイメージは？」や、「入学して感じたことは？」「イメージと違うなあと思ったことは？」など、表現を追加し、適宜、ことば掛けを行う。また、この段階でイメージを十分拡げることができなくても、次のワークによって、いろいろと考えることができることを伝える。	■タスクシート① 「女子大学とはどんなところ？」

<p>展開② (25分)</p>	<p>活動 ブレーンストーミングの準備</p> <p>① グループ分け (4、5人のグループを作る) ② 用具の配布 ③ A3用紙の上部にグループの参加者名を記入</p> <p>説明 ブレーンストーミングとは 【ブレーンストーミングとは】 → 集団でアイデアを出し合うことで、よりよいアイデアになることを期待する方法 【ブレーンストーミングの約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・批判は行わない ・どんなアイデアも大歓迎 ・質より量 ・他人のアイデアに乗っかろう 	<p>※グループ内での役割は事前に決めないものの、作業を行いながら、司会役、記録役などが、自然と決まるようになるとうい。</p> <p>■A3用紙1枚 ■付箋紙(各グループ30枚) ■タスクシート②-1 「ブレーンストーミングとは」</p>
	<p>活動 ブレーンストーミングを行う</p> <p>個々の意見を持ち寄り、重なりを排除した上で、全ての意見をもれなく付箋に書き出す</p> <p>※意見を産出することばかりに意識が向くと、相手の意見を受け入れ、それにコメントをする配慮が薄れるので、その点を留意させたい。</p>	<p>※付箋の書き出しにあたっては、「1つの付箋に1つの意見を書く」ことを徹底。</p>
<p>展開③ (25分)</p>	<p>説明 KJ法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような意見をまとめる ・意見の束ができたなら、それぞれの束の関係性を考え、配置を再考する ・それぞれの束の関係性(派生・類似・対立)をA3用紙に直接記入させる ・それぞれの束にラベルをつけ、マップを完成させる <p>活動 KJ法による情報整理を行う</p>	<p>■タスクシート②-2 「KJ法とは」</p> <p>※具体例を挙げて説明するとうい。</p> <p>例 女子の友達増える ⇔男性との出会えない</p>
<p>振り返り (10分)</p>	<p>振り返り タスクシート③を使って振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う前は、女子大学とは () と思っていたが、 () さんの意見を聞いて () とも思った。 ・結局「女子大学」とは得? 損? () という意見もあるが、 () という点から考えると、やはり女子大学は(損 or 得) だと思う。 ・ブレーンストーミングをやって気づいたこと・感想(自由記述) <p>※ 振り返りのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子大学を多方面からとらえることができたか ・メリットとデメリットは表裏一体であることに気づいたか ・他人の意見を傾聴し、自分の意見を比較・検討したうえで、柔軟に物事をとらえられるようになったか 	<p>■タスクシート③ 「振り返りシート」</p> <p>※ シートのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を傾聴し、新たな観点から女子大学をとらえることができたか ・話し合いを振り返り、対立意見をふまえた上で、自分の意見を持つことができたか
<p>まとめ (15分)</p>	<p>発表 感想等の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴埋めシートの型を使って、グループ内でそれぞれの感想を共有する ・何人かを指名し、クラス全体で意見を共有する ・時間的な余裕があれば、KJ法により作成したマップを用いながら、各グループのブレーンストーミング・KJ法の結果について発表させたい 	<p>※穴埋めシートを使うことで、発表に不慣れな学生も発表しやすくなる。</p> <p>※今回取り上げた発想法や情報整理法は、作文や小論文を書くときにも応用できることを、時間的な余裕があれば触れたい。</p>